



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月2日

上場会社名 安田倉庫株式会社
コード番号 9324 URL <https://www.yasuda-soko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒川 昌幸

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	50,261	10.8	2,101	2.4	2,777	3.0	1,704	7.1
2023年3月期第3四半期	45,365	18.1	2,153	2.1	2,864	0.9	1,834	12.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 12,467百万円 (630.9%) 2023年3月期第3四半期 1,705百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	58.85	
2023年3月期第3四半期	63.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	200,928	89,033	44.1
2023年3月期	166,005	77,372	46.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 88,634百万円 2023年3月期 76,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		12.50		13.50	26.00
2024年3月期(予想)		13.50		13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	13.8	2,600	2.6	3,500	7.3	2,150	4.3	74.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名 Yasuda Logistics Singapore Pte. Ltd.、Yasuda Logistics India Pvt. Ltd.)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,360,000 株	2023年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,396,002 株	2023年3月期	1,395,882 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	28,964,017 株	2023年3月期3Q	28,962,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しや改善の動きがみられましたが、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、世界的な金融引締めに伴う影響、中国経済の先行き懸念など、不透明な状況が続いています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは低調に推移し、海上・航空運賃の下落、エネルギー・原材料価格高騰の影響や労働力不足への対応など予断を許さない状況であり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は高い水準が続いており、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、事業拡大を推進してきました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、前年同期比4,895百万円増（10.8%増）の50,261百万円となりました。営業利益は、新規企業結合に伴う販管費等の増加により前年同期比51百万円減（2.4%減）の2,101百万円、経常利益は、借入関連費用の増加等により前年同期比86百万円減（3.0%減）の2,777百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比130百万円減（7.1%減）の1,704百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、海上運賃の下落により国際貨物取扱料が減少したものの、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、倉庫・輸配送ネットワークの拡充などにより倉庫保管料、作業料、陸運料で増収となり、営業収益は前年同期比5,031百万円増（12.3%増）の45,973百万円、セグメント利益は前年同期比97百万円増（3.8%増）の2,662百万円となりました。

不動産事業では、既存施設の稼働率向上により不動産賃貸料は堅調に推移しましたが、施工工事の減少により営業収益は前年同期比197百万円減（4.1%減）の4,627百万円、セグメント利益は前年同期比57百万円減（3.7%減）の1,485百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価の増加と長期借入金の調達による現金及び預金の増加により、前連結会計年度末に比べ34,923百万円増の200,928百万円となりました。

負債については、主に長期借入金の調達及び社債の発行により、前連結会計年度末に比べ23,263百万円増の111,895百万円となりました。

純資産については、主にその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ11,660百万円増の89,033百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減の44.1%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は、49.7%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9,333百万円増の24,435百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による減少もありましたが、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保による増加により4,730百万円増（前年同期は3,748百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により8,932百万円減（前年同期は6,311百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の調達と社債の発行により13,279百万円増（前年同期は3,149百万円増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月8日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,139	24,476
受取手形及び営業未収金	9,586	12,283
商品	3,025	2,765
その他	1,023	1,238
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	28,771	40,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,867	37,405
機械装置及び運搬具（純額）	2,368	2,248
工具、器具及び備品（純額）	906	834
土地	37,036	38,804
建設仮勘定	3,054	7,482
有形固定資産合計	80,233	86,775
無形固定資産		
のれん	4,639	4,594
借地権	1,016	1,016
その他	2,301	2,157
無形固定資産合計	7,957	7,767
投資その他の資産		
投資有価証券	45,666	60,591
繰延税金資産	584	536
退職給付に係る資産	672	744
その他	2,138	3,770
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	49,042	65,624
固定資産合計	137,233	160,167
資産合計	166,005	200,928

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,721	6,876
短期借入金	10,320	4,431
1年内償還予定の社債	62	262
1年内返済予定の長期借入金	2,631	4,350
未払法人税等	534	256
未払費用	1,692	1,398
その他	2,286	2,443
流動負債合計	22,249	20,019
固定負債		
社債	10,299	16,544
長期借入金	35,980	50,152
繰延税金負債	12,636	17,496
退職給付に係る負債	2,194	2,256
長期預り敷金保証金	4,081	4,219
その他	1,190	1,206
固定負債合計	66,383	91,875
負債合計	88,632	111,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,814	2,814
利益剰余金	41,595	42,513
自己株式	△1,175	△1,175
株主資本合計	46,836	47,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,430	39,796
為替換算調整勘定	67	472
退職給付に係る調整累計額	660	610
その他の包括利益累計額合計	30,157	40,879
非支配株主持分	378	398
純資産合計	77,372	89,033
負債純資産合計	166,005	200,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益		
保管料	6,408	7,527
倉庫作業料	6,799	7,333
陸運料	16,350	20,124
国際貨物取扱料	7,346	5,478
物流賃貸料	1,351	1,443
不動産賃貸料	3,533	3,558
その他	3,575	4,795
営業収益合計	45,365	50,261
営業原価		
作業費	19,333	20,512
人件費	9,588	10,218
賃借料	2,582	3,057
租税公課	840	950
減価償却費	2,539	2,785
その他	5,330	6,733
営業原価合計	40,213	44,258
営業総利益	5,151	6,002
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	1,219	1,588
福利厚生費	205	260
退職給付費用	44	47
減価償却費	127	258
支払手数料	345	428
租税公課	107	123
その他	948	1,193
販売費及び一般管理費合計	2,998	3,901
営業利益	2,153	2,101
営業外収益		
受取利息	2	16
受取配当金	1,026	1,161
雑収入	151	176
営業外収益合計	1,180	1,354
営業外費用		
支払利息	444	499
借入関連費用	22	122
社債発行費	-	42
雑支出	3	14
営業外費用合計	469	678
経常利益	2,864	2,777

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	17	33
特別利益合計	17	33
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産廃棄損	61	117
特別損失合計	66	118
税金等調整前四半期純利益	2,814	2,692
法人税、住民税及び事業税	781	802
法人税等調整額	147	164
法人税等合計	929	967
四半期純利益	1,885	1,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,834	1,704

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,885	1,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△524	10,366
為替換算調整勘定	383	424
退職給付に係る調整額	△38	△49
その他の包括利益合計	△179	10,741
四半期包括利益	1,705	12,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,630	12,426
非支配株主に係る四半期包括利益	74	41

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,814	2,692
減価償却費	2,667	3,044
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△18	△81
受取利息及び受取配当金	△1,029	△1,177
支払利息	444	499
固定資産売却損益（△は益）	△12	△32
固定資産廃棄損	61	117
売上債権の増減額（△は増加）	△2,015	△2,307
棚卸資産の増減額（△は増加）	186	260
仕入債務の増減額（△は減少）	1,192	1,879
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	107	137
その他	△104	37
小計	4,294	5,068
利息及び配当金の受取額	1,028	1,177
利息の支払額	△446	△455
法人税等の支払額	△1,128	△1,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,748	4,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△10
定期預金の払戻による収入	-	16
有形固定資産の取得による支出	△5,530	△7,077
有形固定資産の売却による収入	26	110
無形固定資産の取得による支出	△647	△108
投資有価証券の取得による支出	△94	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△256
事業譲受による支出	-	△1,515
その他	△55	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,311	△8,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360	4,390
短期借入金の返済による支出	△410	△10,354
長期借入れによる収入	300	15,884
長期借入金の返済による支出	△2,438	△2,076
社債の発行による収入	-	6,457
社債の償還による支出	△55	△55
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△735	△779
その他	△169	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,149	13,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	256
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,483	9,333
現金及び現金同等物の期首残高	18,199	15,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,715	24,435

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	40,930	4,434	45,365	-	45,365
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	11	390	402	△402	-
計	40,942	4,825	45,768	△402	45,365
セグメント利益	2,565	1,543	4,109	△1,955	2,153

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,955百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,951百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	45,960	4,300	50,261	-	50,261
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	13	327	340	△340	-
計	45,973	4,627	50,601	△340	50,261
セグメント利益	2,662	1,485	4,148	△2,046	2,101

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,046百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,062百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。